

「高野潤写真展 インカとアンデス原産植物」

2011年9月10日（土）～10月23日（日）

たばこと塩の博物館（東京・渋谷公園通り）で開催



写真家・高野潤氏が撮影した「遺跡」「風景」「植物」・・・インカの魅力を一堂にたばこと塩の博物館（東京・渋谷公園通り）では、2011年9月10日（土）から10月23日（日）まで、「高野潤写真展 インカとアンデス原産植物」を開催します。

高野潤氏は、35年以上もの長きにわたって、南米大陸を中心に撮影活動を行っています。その作品は、アンデス高地から熱帯アマゾン地方へと広がる雄大な自然や風景、ペルーのクスコを中心として栄えたインカ帝国の遺跡、インカ時代からの伝統を残す祭りや土地の人々など、多岐にわたります。

本展では、高野氏の作品のなかから、「自然・風景」「遺跡」「祭り」「原産植物」などにまつわる約200点を展示します。さらに、アンデス地方に3,000種あるといわれる原種系ジャガイモのうちの約100種類をはじめ、昔からアンデスの人々を支え続けた多種多様な有用植物や、豊富な果実類などの写真も合わせて紹介します。高野氏の作品をとおして、インカとアンデスの多彩な魅力にふれていただければ幸いです。なお、今年2011年は、マチュピチュ「発見」100年にあたります。

「自然・風景」：氷河や高原など、アンデスの雄大な自然。また、放牧など自然と人との関わりも紹介。

「遺跡」：マチュピチュをはじめとしたインカの遺跡はもちろん、インカ以前の遺跡も。

「祭り」：インカ時代からの伝統を残す祭りを紹介。

「原産植物」：ジャガイモ、トウガラシ、トウモロコシ、多彩な野菜、果物など、アンデスの原産物を中心に紹介。

※別紙3では展示作品を紹介しています。

〈展示関連の催し〉新大陸講座・文化映画上映などを予定しています（詳細は別紙2参照）

「高野潤写真展 インカとアンデス原産植物」開催概要

名 称 高野潤写真展 インカとアンデス原産植物
（タカノジュンシャシンテン インカトアンデスゲンサンショクブツ）

会 期 2011年9月10日（土）～10月23日（日）

会 場 たばこと塩の博物館 4階特別展示室

開館時間 午前10時～午後6時（入館は午後5時30分まで）

所 在 地 東京都渋谷区神南 1-16-8（渋谷駅から徒歩10分。公園通り）

主 催 たばこと塩の博物館

入 館 料 大人・大学生 100円（50円） 小・中・高校生 50円（20円）

※（ ）内は20名以上の団体料金 ※満70歳以上は入館料無料（要証明書）

休 館 日 月曜日（ただし、9/19、10/10は開館）、9月20日（火）、10月11日（火）



雨期 2～3月のクスコ県高原。ジャガイモ畑には色とりどりの花が咲き乱れる。

お問い合わせ先：たばこと塩の博物館 広報担当：褰地（ほろち）由美子

E-mail: horochi@tsmuseum.jp

〒150-0041 東京都渋谷区神南 1-16-8

TEL: (03) 3476-2041 FAX: (03) 3476-5692

<http://www.jti.co.jp/Culture/museum/>

ご質問、画像データのご希望などございましたら、お気軽に広報担当・褰地までご連絡ください。

【展示関連イベント】

〈新大陸講座〉※当日先着順で整理券を配布します。

9月17日（土）

第62回「野営生活における食の工夫」 講師：高野潤（写真家）

9月18日（日）

第63回「海岸からアンデス高地の植物」 講師：小野幹雄（東京都立大学名誉教授）

10月1日（土）

第64回「アンデスの町や村の食べ物」 講師：木村秀雄（東京大学教授）

※ 新大陸講座は、いずれも午後2時から1階視聴覚ホールで開催。

※ 参加費無料（ただし入館料は必要です）。

※ 定員は、先着80名（いずれも当日開館時より整理券を1名様につき1枚配布します）。

〈文化映画〉※当日先着順（整理券の配布はありません）

9月3日（土）～10月23日（日）

「世界遺産 ペルー／ボリビア編」（上映時間30分）

※ 上映日（期間中のイベント開催日をのぞく土・日・祝日。下記の日程を予定しています）

9月3日（土）、4日（日）、10日（土）、11日（日）19日（月・祝）

10月2日（日）、8日（土）、9日（日）、10日（月・祝）、15日（土）、16日（日）、22日（土）、23日（日）

* 都合により映画の上映は変更になる場合があります。

※ 各日とも午後2時30分から1階視聴覚ホールで上映。

※ 観覧料無料（ただし入館料は必要です）。

※ 定員は先着80名

作品のご紹介

遺跡



1. 空から見た無人のマチュピチュの都市遺跡と山麓を流れるビルカノタ川



2. 霧が湧く朝のマチュピチュ



3. スペイン人とインカの決戦があった オリヤンタイ・タンボには神殿や階段畑の遺跡がある

自然・風景



4. 青空に包まれた高原が広がる乾期(5~10月)のビルカノタ山群山麓(クスコ県)



5. 一日中、高地の野原で小さな牧草をはんでいたアルパカが、夕暮れとともに番小屋に戻る



6. 現在も採塩が続けられているマラスの塩の棚田

祭り



7. 祭りの最終日、ヤナカンチャという高原で何百人もの男女が朝日に向かって踊りを捧げていた

原産植物



8. ペルー・アマゾンで「魚の目」とよばれている丸いトウガラシ



9. サボテン科のピタヤは、果物シャーベットともいわれている



10. 原種系ジャガイモ「チョロスピ」: 中身は薄い黄、煮くずれしないにもかかわらず、ホクホク感がある

高野潤 (たかのじゅん)

1947年 新潟県生まれ。写真家。

1972年 写真学校卒業

1973年からペルーやボリビア、コロンビア、エクアドルなどの南米諸国に通い続け、インカの遺跡をはじめ、アンデスやアマゾン地方の大自然、人々の生活を撮り続けている。

画像データの用意がごさいます。ご掲載いただけるようでしたら、画像の番号を広報担当までご連絡いただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

広報担当: 裊地(ほろち) 03-3476-2041 e-mail: horochi@tsmuseum.jp